

事例3 カメラマンの子連れオオカミさん ～～白色申告から青色申告へ、資産・負債の繰越あり～

- 子連れのオオカミさんはカメラマンです。2018年1月にフリーになり、勤務していた代々木出版社の仕事をしながら、お茶ノ水書房とも取引を始めました。
- 青梅の一戸建て（賃借）を自宅兼仕事場にしています。仕事専用部屋だけでなく、食卓やテーブルなども写真撮影用に使っているので、家賃や水道光熱費の40%を必要経費としてきました。写真データのやり取りが多いので、スマホを含む通信費は80%を必要経費にしています。
- 独立と同時に、取材用の車（耐用年数6年）を300万円で購入し、青梅信用金庫で5年のローンを組みました。返済一覧表によると、2020年末のローン残高は1,272,283円です。
- 昨年（2020年）までは白色申告でしたが、売り上げも増えてきたので、今年から青色申告に挑戦することにし、青色申告の申請書と青色事業専従者給与の届け出も済ませました。もちろん記帳は「簡単仕訳帳」を使います。

1 青色事業専従者給与（裏面の書き方をお読みください。）

	専従者の氏名	続柄	年齢 経験年数	仕事の内容・ 従事の程度	資格等	給 料		賞 与		昇給の基準
						支給期	金額（月額）	支給期	支給の基準（金額）	
1	オオカミ花子	妻	26歳 3年	撮影補助、記帳	なし	毎月 25日	100,000円			毎年概ね2%

（他に、給与支払事務所等の開設届出書、源泉所得税の納期の特例の承認に関する申請書が必要です。）

<決算書の引継ぎ・年の初めの貸借対照表>

- 最初に前年の決算書から、今年の初めの貸借対照表を作って入力します。
白色申告では貸借対照表がありませんが、大丈夫です。
白色申告書の収支明細には貸借対照表のヒントがたくさん載っています。

R2(2020)年
○売上(収入)金額の明細

売上先名	所在地	売上(収入)金額
代々木出版	渋谷区代々木	5,500,000円
お茶の水書房	千代田区お茶の水	1,100,000円
上記以外の売上先の計		計 6,600,000円

○仕入金額の明細

仕入先名	所在地	仕入金額
上記以外の仕入先の計		計 ⑤

○減価償却費の計算

減価償却資産の名称等 (経費資産を含む)	取得年月	取得価額 (①)	償却の基礎 になる金額 (②)	償却方法 (③)	耐用年数 (④)	償却率 又は 償却期間 (⑤)	本年分の 償却額 (⑥)	本年分の 普通償却費 (⑦)	特別 償却費 (⑧)	本年分の必要 経費算入額 (⑨)	本年分の必要 経費算入率 (⑩)	未償却残高 (⑪)	備 考
取材用車両	2018/12	3,000,000円	3,000,000円	定額	6年	12/60	500,000円	-	500,000円	500,000円	100%	500,000円	1,500,000円
計										⑨			

(注) 平成19年4月1日以後に取得した減価償却資産について定率法を採用する場合にのみ⑤欄のカッコ内に償却率を記入します。

○地代家賃の内訳

支払先の住所・氏名	賃借物件	本年中の賃借料・家賃等 (①)	左の賃借料のうち 必要経費算入額 (②)
青梅市東青梅・山田太郎	自宅	300,000円	900,000円
		1,800,000円	

○利子割引料の内訳（金融機関を除く）

支払先の住所・氏名	借入金の 元金等	本年中の 利子割引料 (①)	左のうちの必要 経費算入額 (②)
青梅市・青梅自動車D-1	1,272,283円	63,948円	63,948円

○本年における特殊事情

家賃の40%、水道光熱費の40%、通信費の80%を必要経費としていた。

○この用紙は「提出用」です。申告には必ず「提出用」を使ってください。

- 取材用車両は6年で減価償却しており、昨年末の未償却残高は1,500,000円
 $\text{取得価額 } 3,000,000 \text{ 円} - 3,000,000 \times 1/6 \times 3 \text{ 年} = 1,500,000 \text{ 円}$
- 青梅市の山田さんから借りている自宅は敷金30万円を差し入れており、賃料15万円です。
- 自動車ローンは毎月55,250円返済の元利均等法で、元本と利息に分けた返済一覧表があり、毎月55,250円を返済しています。
-

年	月	返済	利息	元本	借入残高	年間利息	元本返済
			4.0%		3,000,000		
	11	55,250	4,579	50,671	1,323,123		
	12	55,250	4,410	50,840	1,272,283	63,948	599,052
2021	1	55,250	4,241	51,009	1,221,274		
	2	55,250	4,071	51,179	1,170,095		
	3	55,250	3,900	51,350	1,118,745		
	4	55,250	3,729	51,521	1,067,224		
	5	55,250	3,557	51,693	1,015,531		
	6	55,250	3,385	51,865	963,666		
	7	55,250	3,212	52,038	911,628		
	8	55,250	3,039	52,211	859,417		
	9	55,250	2,865	52,385	807,032		
	10	55,250	2,690	52,560	754,472		
	11	55,250	2,515	52,735	701,737		
	12	55,250	2,339	52,911	648,826	39,543	623,457

- 以上から、年の初めに引き継ぐ貸借対照表項目は下記のとおりです。

資産	金額(円)	負債	金額(円)
車両運搬具	1,500,000	借入金	1,272,283
敷金・保証金	300,000	元入金	527,717
合計	1,800,000	合計	1,800,000

左右の合計が一致するように、元入金で調整します。(元入金=527,717円)

- ① 「簡単仕訳帳」の左上に「2021」年と入力し、貸借対照表の繰越金額を登録します。

2021 年			簡単仕訳帳			メニュー表示			
伝票No.	月	日	摘 要	コード	借方科目	金 額	コード	貸方科目	金 額
①	1	1	前年繰越	124	車両運搬具	1,500,000			
	2	1	〃	127	敷金・保証金	300,000			
	3	1					203	借入金	1,272,283
	4	1					302	元入金	527,717

2021年			
貸借対照表			
112	未収入金		203 借入金 1,272,283
113	仮払源泉税		204 未払金
124	車両運搬具	1,500,000	
125	工具器具備品		
126	土地		301 事業主勘定
127	敷金・保証金	300,000	302 元入金 527,717
128	その他投資		特別控除前利益
		1,800,000	1,800,000

これが国税庁サイトで入力する1月1日(期首)の貸借対照表です。

<通常の入出金取引（1月・2月）>

- 事例の簡略化のため、「当月分経費の引落とし＝当月」とします。

- ② 1月10日、長野の取材に行くため、ガソリン 20,000 円を給油した。
- ③ 1月20日、電気代 30,000 円（経費算入 12,000 円）、通信費 20,000 円（経費算入 16,000 円）が引落としになった。
- ④ 1月25日、専従者給与 100,000 円を支払った。（源泉所得税 720 円を控除）
- ⑤ 1月26日、自宅の家賃 15 万円（経費算入 60,000 円）が引き落とされた。
- ⑥ 1月29日、青梅信用金庫の口座からローンの返済金が 55,250 円引き落とされた。
うち、利息は 4,241 円、元本は 51,009 円である
- ⑦ 1月31日、1月分の交通費は合計 5,160 円だった。

交通費精算書			(伝票No.)	
年月日	経路	交通機関	金額	用件
2021/01/10	東青梅～代々木(往復)	JR	1,640	代々木出版打合せ
1/20	東青梅～御茶ノ水(往復)	JR	1,880	お茶ノ水書房打合せ
1/25	東青梅～代々木(往復)	JR	1,640	代々木出版打合せ
合 計			5,160	

- ⑧ 2月10日、写真撮影用の機材（290,000 円、税込 319,000 円）を購入した。税込 30 万円以上のため資産（器具備品）計上する。※
- ⑨ 2月22日、電気代 32,000 円（経費算入 12,800 円）、通信費 20,000 円（経費算入 16,000 円）がクレジットの引落としになった。
- ⑩ 2月25日、専従者給与 100,000 円を支払った。（源泉所得税 720 円を控除）
- ⑪ 2月26日、代々木出版に納品した撮影代金と立替ガソリン代が入金した。
➤ 撮影代 880,000 円（税込）
- ⑫ 2月26日、自宅の家賃 15 万円（経費算入 60,000 円）が引き落とされた。
- ⑬ 2月26日、青梅信用金庫の口座からローンの返済金が 55,250 円引き落とされた。
うち、利息は 4,071 円、元本は 51,179 円である。
- ⑭ 2月28日、2月分の交通費は合計 3,570 円だった。

交通費精算書			(伝票No.)	
年月日	経路	交通機関	金額	用件
2021/02/05	東青梅～代々木	JR	820	代々木出版打合せ
	代々木～御茶ノ水～東青梅	JR	1,110	お茶ノ水書房打合せ
2/10	東青梅～代々木(往復)	JR	1,640	代々木出版打合せ
合 計			3,570	

- ※ 税込で記帳しているため、税込で固定資産か費用かの判定をします。この場合、30 万円未満は費用処理できる小規模企業の特例が使えないので、固定資産計上しました。

2021 年						簡 単 仕 訳 帳			メニュー表示		
伝 票 No.	月	日	摘 要	コード	借 方 科 目	金 額	コード	貸 方 科 目	金 額		
1	1	1	前年繰越	124	車両運搬具	1,500,000					
2	1	1	〃	127	敷金・保証金	300,000					
3	1	1	〃				203	借入金	1,272,283		
4	1	1	〃				302	元入金	527,717		
②	5	1	10 ガソリン給油	514	消耗品費	20,000					
③	6	1	20 電気代1月分30,000円	507	水道光熱費	12,000					
	7	1	20 通信費1月分20,000円	509	通信費	16,000					
④	8	1	25 花子 専従者給与	526	専従者給与	100,000					
	9	1	25 専従者給与 源泉所得税				206	預り金	720		
⑤	10	1	26 自宅家賃引落し150,000円	520	地代家賃	60,000					
⑥	11	1	29 自動車ローン引落し 利息	519	利子割引料	4,241					
	12	1	29 〃 元本	203	借入金	51,009					
⑦	13	1	31 都内交通費(電車)1月分	508	旅費交通費	5,160					
⑧	14	2	10 写真撮影用機材を購入	125	工具器具備品	319,000					
⑨	15	2	22 電気代2月分32,000円	507	水道光熱費	12,800					
	16	2	22 通信費2月分20,000円	509	通信費	16,000					
⑩	17	2	25 花子 専従者給与	526	専従者給与	100,000					
	18	2	25 専従者給与 源泉所得税				206	預り金	720		
⑪	19	2	26 代々木出版撮影代入金				401	売上(報酬)	880,000		
⑫	20	2	26 自宅家賃引落し150,000円	520	地代家賃	60,000					
⑬	21	2	26 自動車ローン引落し 利息	519	利子割引料	4,071					
	22	2	26 〃 元本	203	借入金	51,179					
⑭	23	2	28 都内交通費(電車)2月分	508	旅費交通費	3,570					

				2021年	
貸借対照表					
112	未収入金		203	借入金	1,170,095
113	仮払源泉税		204	未払金	
114	その他の資産		206	預り金	1,440
124	車両運搬具	1,500,000			
125	工具器具備品	319,000			
126	土地		301	事業主勘定	△46,410
127	敷金・保証金	300,000	302	元入金	527,717
128	その他投資			特別控除前利益	466,158
		2,119,000			2,119,000
損益計算書					
507	水道光熱費	24,800	401	売上(報酬)	880,000
508	旅費交通費	8,730	402	雑収入	
509	通信費	32,000			
514	消耗品費	20,000			
515	減価償却費				
519	利子割引料	8,312			
520	地代家賃	120,000			
526	専従者給与	200,000			
530	雑費				
	計	413,842			880,000
	特別控除前利益	466,158			
	合計	880,000			880,000

<通常の取引・続き>

⑮ 家賃、電気代、通信費、ガソリン代、交通費、専従者給与の年間分は下記のとおりである。

- 電気代と通信費はクレジット払いのため、2 か月後の引落としになっている。
- 事例の簡便化のため 3 月～12 月の支払い（引落とし）分は合計を入力する。

（源泉所得税は 1～6 月分、7～12 月分（各 4,320 円）を 7 月と 1 月に税務署へ納付する。）

支払月	家賃	うち経費	電気代	うち経費	通信費	うち経費	ガソリン代	交通費	専従者給与	源泉税
1月	150,000	60,000	30,000	12,000	20,000	16,000	20,000	5,160	100,000	720
2月	150,000	60,000	32,000	12,800	20,000	16,000		3,570	100,000	720
3月	150,000	60,000	29,500	11,800	20,000	16,000		7,280	100,000	720
4月	150,000	60,000	31,000	12,400	20,000	16,000	16,000	3,500	100,000	720
5月	150,000	60,000	32,000	12,800	20,000	16,000	15,000	4,500	100,000	720
6月	150,000	60,000	33,000	13,200	20,000	16,000	18,000	5,000	100,000	720
7月	150,000	60,000	31,000	12,400	20,000	16,000	5,000	6,000	100,000	720
8月	150,000	60,000	30,000	12,000	20,000	16,000	21,000	2,500	100,000	720
9月	150,000	60,000	30,500	12,200	20,000	16,000	30,000	3,000	100,000	720
10月	150,000	60,000	33,000	13,200	20,000	16,000		3,500	100,000	720
11月	150,000	60,000	29,000	11,600	20,000	16,000	25,000	6,400	100,000	720
12月	150,000	60,000	32,000	12,800	20,000	16,000	20,000	4,500	100,000	720
3～12月	1,500,000	600,000	311,000	124,400	200,000	160,000	150,000	46,180	1,000,000	7,200
年間計	1,800,000	720,000	373,000	149,200	240,000	192,000	170,000	54,910	1,200,000	8,640

⑯ 自動車ローンの返済は、事例の簡略化のため 3 月～12 月は合計を入力する。

自動車ローンの引落とし 497,250 円（うち利息 27,331 円、元本返済 469,919 円）

⑰ 6 月、8 月、10 月、12 月に代々木出版から撮影代が、11 月に御茶ノ水書房から原稿料が入金した。

収入内訳一覧表							
日付	相手	内訳		報酬	雑収入	△源泉税	差引
2/26	代々木出版	撮影代	長野	880,000			880,000
6/30	代々木出版	撮影代	大宮他	1,200,000			1,200,000
8/31	"	"		1,050,000			1,050,000
10/31	"	"		1,400,000			1,400,000
11/30	お茶の水書房	写真集原稿料		500,000		51,050	448,950
12/31	代々木出版	"		1,300,000			1,300,000
							0
							0
				6,330,000	0	51,050	

◇ この表は簡単仕訳帳の決算書の下についています。

決算書とのチェックや、申告書の作成時（源泉所得税の入力）に利用します。

<決算整理>

⑱ 固定資産の減価償却費を計上する。

付録の「簡易減価償却表」を使うと、取材用車両の減価償却費は 501,000 円、写真撮影用機材(耐用年数 5 年)の減価償却費は 53,167 円となる。

簡易減価償却・固定資産台帳				平成19(2007)年4月1日以降に取得した減価償却資産、定額法のみ						(償却率を使用する)			
No.	減価償却資産の名称	取得年	月	取得価額	前年末 未償却残高	償却方法	耐用 年数	償却 率	償却 月数 /12	普通償却費	経費 割合(%)	経費算入額	未償却残高
1	取材用車両ウルフ	2018	1	3,000,000	1,500,000	定額法	6	0.167	12	501,000	100.0%	501,000	999,000
2	写真撮影用機材	2021	3	319,000		定額法	5	0.200	10	53,167	100.0%	53,167	265,833

2021 年		簡単仕訳帳					メニュー表示		
伝票No.	月	日	摘 要	コード	借方科目	金 額	コード	貸方科目	金 額
1	1	1	前年繰越	124	車両運搬具	1,500,000			
2	1	1	#	127	敷金・保証金	300,000			
39	12	31	代々木出版撮影代				401	売上(報酬)	1,300,000
⑱ 40	12	31	取材用車両の減価償却費	515	減価償却費	501,000	124	車両運搬具	501,000
41	12	31	写真撮影用機材の減価償却費	515	減価償却費	53,167	125	工具器具備品	53,167

					2021年
貸借対照表					
112	未収入金		203	借入金	648,826
113	仮払源泉税	51,050	204	未払金	
114	その他の資産		206	預り金	4,320
124	車両運搬具	999,000			
125	工具器具備品	265,833			
126	土地		301	事業主勘定	△2,815,160
127	敷金・保証金	300,000	302	元入金	527,717
128	その他投資			特別控除前利益	3,250,180
		1,615,883			1,615,883
損益計算書					
507	水道光熱費	149,200	401	売上(報酬)	6,330,000
508	旅費交通費	54,910	402	雑収入	
509	通信費	192,000			
514	消耗品費	170,000			
515	減価償却費	554,167			
519	利子割引料	39,543			
520	地代家賃	720,000			
526	専従者給与	1,200,000			
530	雑費				
	計	3,079,820			6,330,000
	特別控除前利益	3,250,180			
	合計	6,330,000			6,330,000



国税庁サイト「確定申告書等作成コーナー」

～

国税庁サイト「確定申告書等作成コーナー」へ入力した青色申告決算書です。

令和 03 年分所得税青色申告決算書 (一般用)

この青色申告決算書は機械で読み取りますので、黒のボールペンで書いてください。

住所	東京都青梅市東青梅1-2-3 オオカミハウス	フリガナ氏名	コツレ オオカミ 子連れ オオカミ	依頼者 氏名(名称)	
事業所所在地	東京都青梅市東青梅1-2-3 オオカミハウス	電話番号	(自宅)0570-066-066 (事業所)03-1234-5678	依頼者 電話番号	
業種名	カメラマン	屋号	写真の上手なオオカミさん	加入団体名	カメラマン協会

令和 4 年 2 月 15 日 損益計算書 (自 1 月 1 日至 12 月 31 日) 税理士番号 0 1 2 3 4 5 6 7

科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
売上(収入)金額 (雑収入を含む)	6 3 3 0 0 0 0	消耗品費	1 7 0 0 0 0	貸倒引当金	
売上原価		減価償却費	5 5 4 1 6 7		
売上商品(製品)差引金額		福利厚生費			
仕入金額(製品製造費)		給料賃金			
小計(②+③)		外注工賃		計	
期末商品(製品)差引金額		利子割引料	3 9 5 4 3	専従者給与	1 2 0 0 0 0 0
差引原価(④-⑤)		地代家賃	7 2 0 0 0 0	貸倒引当金	
差引金額 (①-⑥)	6 3 3 0 0 0 0	貸倒金			
経費				計	1 2 0 0 0 0 0
租税公課				青色申告特別控除前の所得金額 (⑧-⑨-⑩)	3 2 5 0 1 8 0
荷造運賃				青色申告特別控除額	6 5 0 0 0 0
水道光熱費	1 4 9 2 0 0			所得金額 (⑬-⑭)	2 6 0 0 1 8 0
旅費交通費	5 4 9 1 0				
通信費	1 9 2 0 0 0				
広告宣伝費					
接待交際費					
損害保険料					
修繕費					
		雑費			
		計	1 8 7 9 8 2 0		
		差引金額 (⑦-⑫)	4 4 5 0 1 8 0		

●青色申告特別控除については、「決算の手引き」の「青色申告特別控除」の項を読んでください。

●下の欄には、書かないでください。

⑪		⑮	
⑫		⑯	
⑬		⑰	

貸借対照表 (資産負債調)

氏名 コツレ オオカミ 子連れ オオカミ (令和 3 年 12 月 31 日現在)

●65万円又は55万円の青色申告特別控除を受ける人は必ず記入してください。それ以外の人でも分かる箇所はできるだけ記入してください。

資 産 の 部			負 債 ・ 資 本 の 部		
科 目	1 月 1 日 (期首)	12 月 31 日 (期末)	科 目	1 月 1 日 (期首)	12 月 31 日 (期末)
現金			支払手形		
当座預金			買掛金		
定期預金			借入金	1,272,283	648,826
その他の預金			未払金		
受取手形			前受金		
売掛金			預り金		4,320
有価証券					
棚卸資産					
前払金					
貸付金					
建物					
建物附属設備					
機械装置					
車両運搬具	1,500,000	999,000	貸倒引当金		
工具器具備品		265,833			
土地					
敷金	300,000	300,000			
仮払源泉税		51,050			
			事業主借		-2,815,160
			元入金	527,717	527,717
			青色申告特別控除前の所得金額		3,250,180
事業主貸					
合 計	1,800,000	1,615,883	合 計	1,800,000	1,615,883

(注)「元入金」は、「期首の資産の総額」から「期首の負債の総額」を差し引いて計算します。

<翌年の引継ぎ・繰越>

- 新年（2022）の仕訳帳を準備します。前年の簡単仕訳帳（又は原本）をコピーし、データを全部消去してから、左上に「2022」年と入力します。

①⑨ 最初の入力は、前年貸借対照表の引継ぎ（繰越）です。

- 貸借対照表の項目は、借方・貸方に分けてそのまま入力します。
- 「事業主勘定」と「青色申告特別控除前利益」は「元入金」とします。

2022 年			簡単仕訳帳			メニュー表示			
伝票No.	月	日	摘 要	コード	借方科目	金 額	コード	貸方科目	金 額
①9	1	1	前年繰越	113	仮払源泉税	51,050			
	2	1	"	124	車両運搬具	999,000			
	3	1	"	125	工具器具備品	265,833			
	4	1	"	127	敷金・保証金	300,000			
	5	1	"				203	借入金	648,826
	6	1	"				206	預り金	4,320
	7	1	" (事業主勘定)				302	元入金	-2,815,160
	8	1	" (元入金)				302	元入金	527,717
	9	1	" (控除前利益)				302	元入金	3,250,180

2022年			
貸借対照表			
112	未収入金		203 借入金 648,826
113	仮払源泉税 51,050	204	未払金
114	その他の資産	206	預り金 4,320
124	車両運搬具 999,000		
125	工具器具備品 265,833		
126	土地	301	事業主勘定
127	敷金・保証金 300,000	302	元入金 962,737
128	その他投資		特別控除前利益
	1,615,883		1,615,883

これが国税庁サイトで入力する1月1日（期首）の貸借対照表です。

②⑩ 「仮払源泉税」と「預り金」を振り戻します。

2022 年			簡単仕訳帳			メニュー表示			
伝票No.	月	日	摘 要	コード	借方科目	金 額	コード	貸方科目	金 額
1	1	1	前年繰越	113	仮払源泉税	51,050			
2	1	1	〃	124	車両運搬具	999,000			
9	1	1	〃（控除前利益）				302	元入金	3,250,180
② 10	1	1	振り戻し				113	仮払源泉税	51,050
11	1	1	〃	206	預り金	4,320			

2022年			
貸借対照表			
112	未収入金	203	借入金 648,826
113	仮払源泉税	204	未払金
114	その他の資産	206	預り金
124	車両運搬具 999,000		
125	工具器具備品 265,833		
126	土地	301	事業主勘定 △46,730
127	敷金・保証金 300,000	302	元入金 962,737
128	その他投資		特別控除前利益
	1,564,833		1,564,833

<補足説明：専従者給与の支払いについて>

- 一緒に生活している家族が事業に従事している場合、給与を支払っても必要経費として認められませんが、下記の特例があります。
 (ア) 白色申告の場合、配偶者は最大 85 万円までが必要経費に。
 (イ) 青色申告では、(年間 7 カ月以上専ら事業に従事している場合、) その支払額までが必要経費に。
 ※ いずれの場合も扶養(配偶者)控除 38 万円が受けられず、給与の金額によっては支払を受けた本人に所得税がかかります (いずれにしても給与所得として確定申告が必要です)。
- オオカミさんのケースで比較してみます。

専従者給与 120 万円を払うと配偶者控除 38 万円が受けられませんが、課税対象額が 82 万円少なくなるので所得税が 77,200 円少なくなります。奥さんに掛かる所得税を考慮しても 68,600 円オトクです。

	専従者給与なし	差額	専従者給与あり	妻
控除前利益	4,450,180		4,450,180	1,200,000
青色申告特別控除	△ 650,000		△ 650,000	
給与所得控除				△ 550,000
専従者給与	0		△ 1,200,000	
配偶者控除	△ 380,000		0	
基礎控除	△ 480,000		△ 480,000	△ 480,000
社会保険料・医療費控除	△ 297,777		△ 297,777	
課税対象額	2,642,403	△ 820,000	1,822,403	△ 480,000
所得税	166,700		91,100	8,500
復興特別所得税	3,501		1,913	178
計	170,200	△ 77,200	93,000	8,600
所得税の差		△ 68,600	101,600	

➤ さらに住民税、事業税、国民健康保険料等でも、専従者給与を支給したほうが負担が小さくなりますが、煩雑なので省略します。

3. 専従者給与はいくらにしたらオトク？

一般に月額 8 万円(年額 96 万円)ぐらいが、手間がかからずオトクだと言われています。専従者の給与からは下記のとおり、給与所得控除と基礎控除が差引かれて税金がかかります。

	所得税	住民税
給与所得控除	55 万円	55 万円
基礎控除	48	43
合計	103	98

※ 令和 3 年より

月額 8 万円は仕事の説明がつけやすいし、年額 96 万円は所得税も住民税もかからないので面倒がないというわけです。当然、毎月の源泉徴収は必要ありません。